

# 横浜市感染症発生動向調査報告 9月

## 《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。
- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈9月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	8件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	4件
レジオネラ症	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	1件
アメーバ赤痢	1件	梅毒	3件
ウイルス性肝炎	1件	百日咳	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1件	-	-

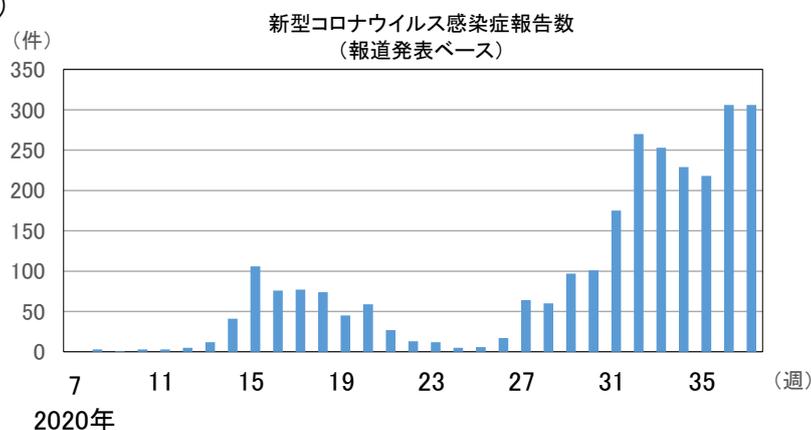
- 腸管出血性大腸菌感染症: O91が1件(無症状病原体保有者)、O26が1件、O111が1件(無症状病原体保有者)、O157が3件、O血清群不明が2件(うち無症状病原体保有者が1件)の報告がありました。
- E型肝炎: 1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- レジオネラ症: 肺炎型1件、ポンティアック熱型2件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が1件ありました。感染経路等不明です。
- ウイルス性肝炎: B型肝炎の報告が1件ありました。針等の鋭利なものの刺入による感染が推定されています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): 無症状病原体保有者3件、その他1件の報告がありました。いずれも性的接触(同性間3件、異性間1件)による感染が推定されています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 70歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。感染経路等不明です。
- 梅毒: 無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件の報告がありました。性別は男性1件、女性2件で、いずれも性的接触による感染が推定されています。
- 百日咳: 10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴4回)ありました。感染経路等不明です。

### ◇ 指定感染症(新型コロナウイルス感染症)

今回の調査期間(8月24日から9月13日)に横浜市から報道発表のありました症例は830件でした。

横浜市内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

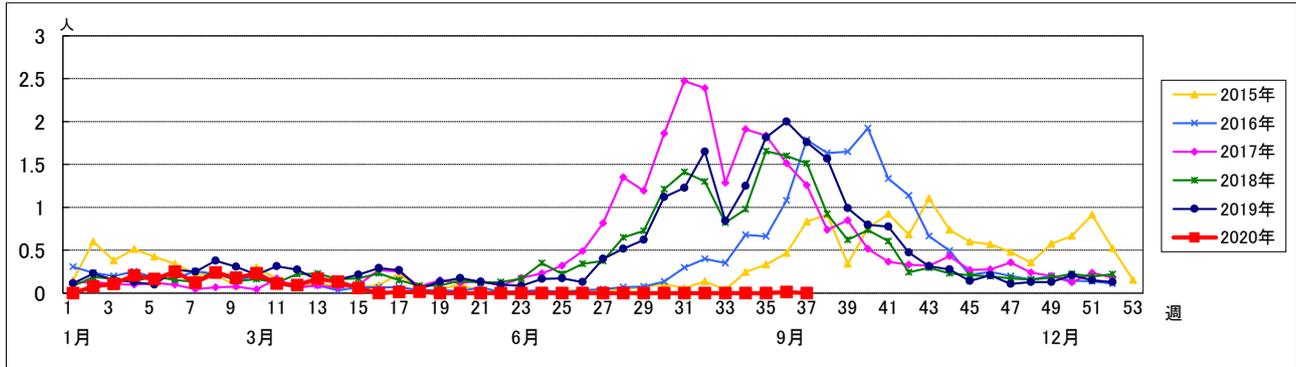
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/coronavirus/kanja.html>



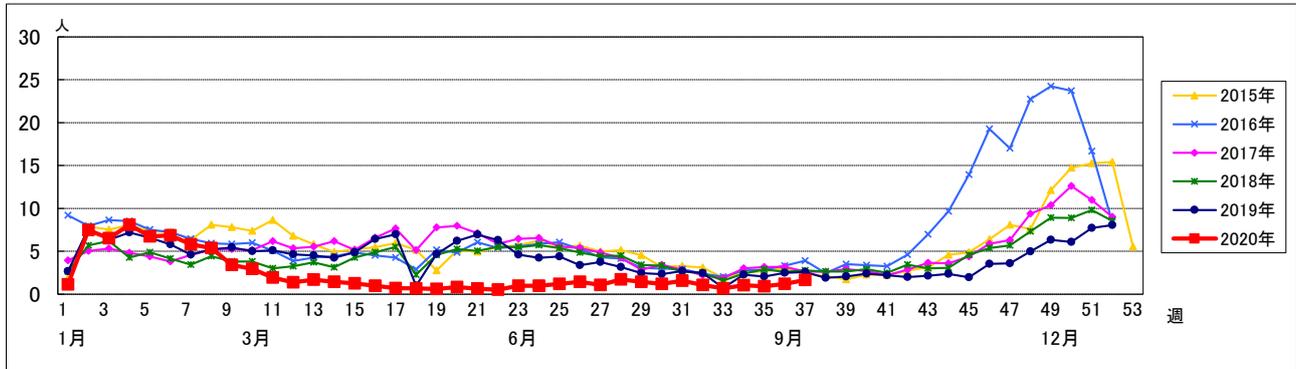
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第35週	8月24日～8月30日
第36週	8月31日～9月6日
第37週	9月7日～9月13日

1 RSウイルス感染症: 昨年はこの時期に多くの報告がみられていましたが、今年は第37週で0.00です。



2 感染性胃腸炎: 例年より低めの報告数で推移していましたが、第37週は1.63となっています。



3 性感染症(8月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:19件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:8件
尖圭コンジローマ	男性:1件	女性:3件	淋菌感染症	男性:24件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.50
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

## ◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

## 〈ウイルス検査〉

8月24日から9月20日までに病原体定点から搬入された検体は、小児科定点24件、内科定点2件、基幹定点0件、眼科定点2件で、定点外医療機関からは2件でした。

コクサッキーA4型遺伝子3件及びライノウイルス遺伝子9件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果9月期(2020年第35週～第38週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎
コクサッキーA4型	3	
ライノ	6	3
合計	9	3

上段:ウイルス分離数

下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

9月期(2020年第35週～第38週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌4件、エロモナス1件、マイロイデス1件、侵襲性肺炎球菌1件、非定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌9件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌6件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌5件、侵襲性肺炎球菌1件、腸球菌1件、カンピロバクター1件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、保健所からレジオネラ3件の検査依頼がありました。小児科定点からは検査依頼はありませんでした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2020年第35週～第38週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	4	<i>Escherichia coli</i> (2)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (2)	
	エロモナス	1	<i>Aeromonas veronii</i> (1)	
	マイロイデス	1	<i>Myroides odoratimimus</i> (1)	
	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)	
非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	9	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (7)、 <i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Pantoea</i> sp. (1)	
保健所	腸管出血性大腸菌	6	O157 : H7 VT2 (1)、OUT : H- VT2 (1) O26 : H11 VT1 (1)、O91 : HUT VT1 (1) O103 : H2 VT1 (1)、O111 : H- VT1 VT2 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	5	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (4)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> (1)	
	腸球菌	1	<i>Enterococcus thailandicus</i> (1)	
	カンピロバクター	1	<i>Campylobacter jejuni</i> (1)	
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
保健所	喀痰	レジオネラ	3	不検出 (3)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】